

【やりとりと判定の実例：A2○】

<ロールカード>

あなたは仕事で日本に来て、明日帰国します。急に具合が悪くなったので病院にきました。
 医者の質問に教えてください。

T：テスター、S：受験者

発話例	判定の根拠
<p>T：どうしましたか。 S：あ、おなかが痛いです。① T：あ、そうですか、いつからですか。 S：あー、昨日、夕べ。② T：あ、そうですか。何を食べましたか。 S：あー、私は、友達、と、一緒にバーベキューを食べます。バーベキューはおいしい。でも、でも、肉は焼け、焼けていないよ。③ T：あー、そうですか。 S：それから、おなかが痛いです。④ T：あ、そうですか。朝ごはんは、食べましたか。 S：んー、朝ごはん、少し食べます。⑤ T：そうですか。あ、今日の夜熱がでるかもしれませんから、明日はゆっくり休んでください。仕事もしないでください。A S：仕事しない。あ、はい、分かりました。⑥ T：はい。じゃあ、薬を出しますね。 S：はい。 T：マスクもしてください。 S：はい、ありがとう。 T：はい。</p>	<p>①～⑤聞かれたことに簡単に答えて必要な情報を伝えられる =タスクが達成できる</p> <p>テスターのA「明日は仕事を休むように」という働きかけに対して、⑥は事情説明はしない</p>

この例では、病院で、どこがどのくらい痛いかなどの簡単に質問に対して、短い簡単な言葉で答えられるかどうかで、タスクが達成できたかどうか判断します。この例では、①～⑤の発話により、達成できたと判断できます。

何とか達成（○）か、十分に達成（◎）かを判断するために、テスターはAで「明日は仕事を休んでください」と働きかけます。しかし、それに対して受験者は⑥のようにやりとりを終了しており、「明日帰国する」などの事情説明をしませんでした。この受験者は自分から話を進めることはできないものの基本的な情報のやりとりがなんとかできる、つまり○のレベルだと判定します。